

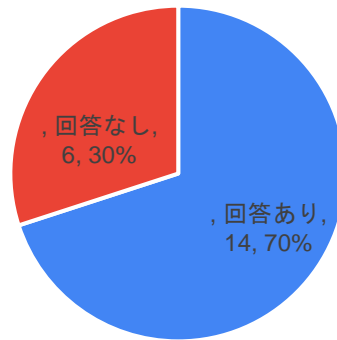
短期入所事業所緊急時受け入れ状況等に係るアンケート結果概要（調査①）

1 回答事業者数

○短期入所事業所20者のうち、回答があったのは14者・70%であった。
 ※回答方法内訳 グーグルフォーム：11者、メール：3者

問1 回答事業者数

単位：事業所数、%



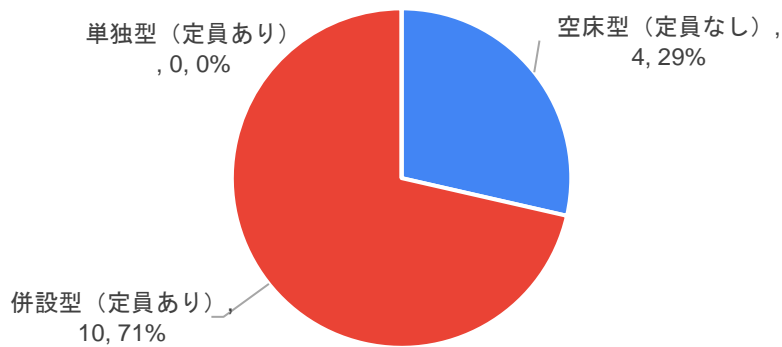
■ 回答あり ■ 回答なし

2 短期入所の種別

○回答があった事業所の種別は、併設型が10事業所・71%、空床型が4事業所・29%であった。単独型はなかった。

問2 短期入所の種別

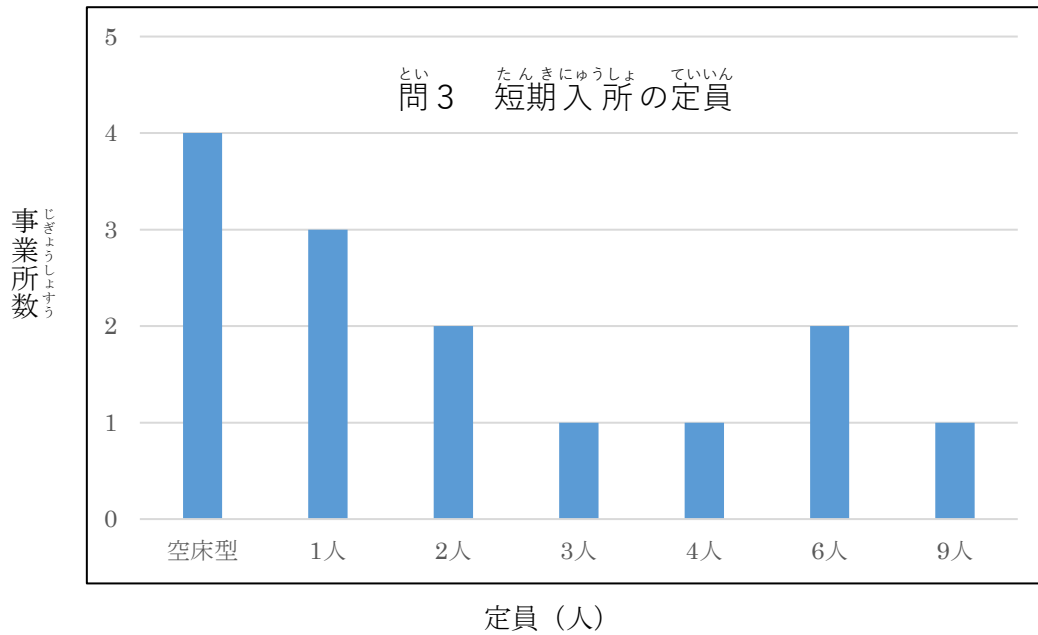
単位：事業所数、%



■ 空床型 (定員なし) ■ 併設型 (定員あり) ■ 単独型 (定員あり)

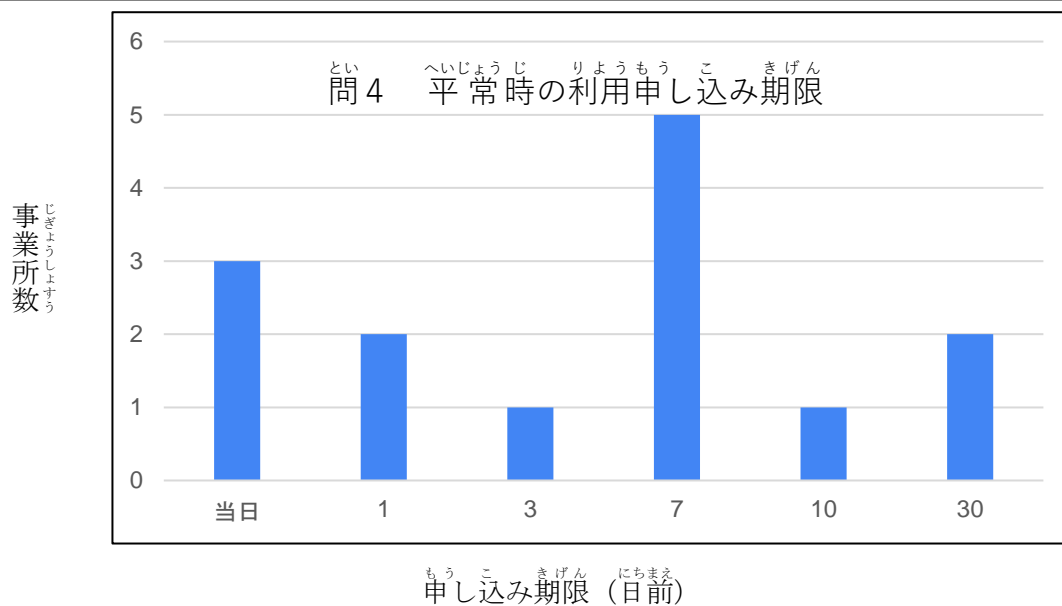
3 短期入所の定員

○定員は、空床型（定員なし）が4事業所で最も多く、次いで1人が3事業所であった。
定員規模で最も大きいのは、9人であった。



4 平常時の利用申し込み期限

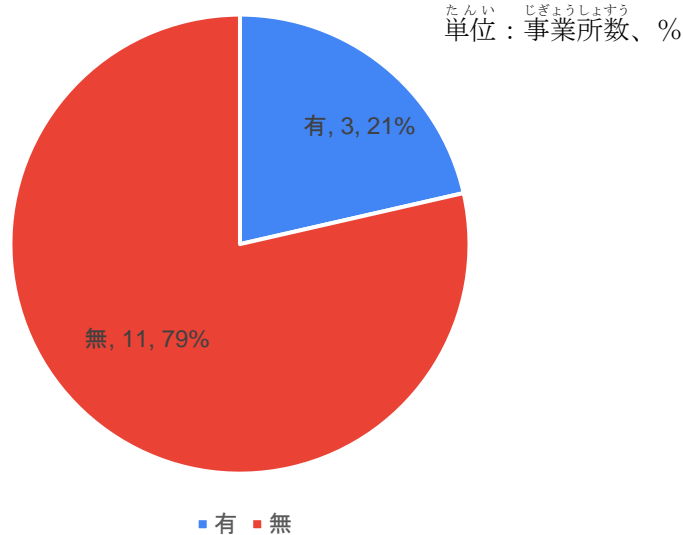
○平常時の利用申し込み期限で最も多かったのは、「7日前」の5事業所、次いで「当日」の3事業所であった。



5 利用条件の有無

○利用にあたっての条件がある事業所は、3事業所・21%で、なしの事業所は、11事業所・79%であった。

問5 利用条件の有無



6 利用条件や特に確認すること

○利用条件や特に確認する点、考慮する点は以下のとおりであった。

問6 利用条件や特に確認すること

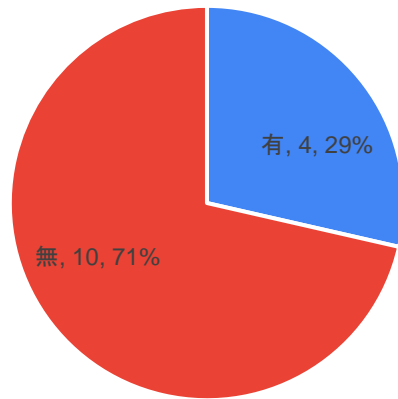
- ・送迎はご家族等で行ってほしい。
- ・自傷・他害行為の有無。医療的ケアの有無。服薬状況・通院状況等。
- ・自立訓練(宿泊型)入居者とのバランス。
- ・医療的ケアが必要な方は原則不可(導尿のみ要相談)。
- ・医療的ケアが必要な方は難しい(要相談)。
- ・ADL、服薬状況。
- ・重度身体障がい者に該当するか。
- ・離設※の可能性の有無、他害行動の有無、その他リスク等。
- ・障がい特性、集団生活・共同生活が営めるか。
- ・身体状況、介護内容、医療行為の有無、周辺症状など

※離設：入所者が職員が気がつかないうちに、施設の外に出てしまうこと

7 前々日、前日又は当日での申し込みでの受け入れ実績の有無(R5~R7)

○前々日、前日又は当日での申し込みでの受け入れ（緊急時受入加算）の実績が「有」は、4事業所・29%で、「無」は10事業所・71%であった。

問7 緊急時の受け入れの有無



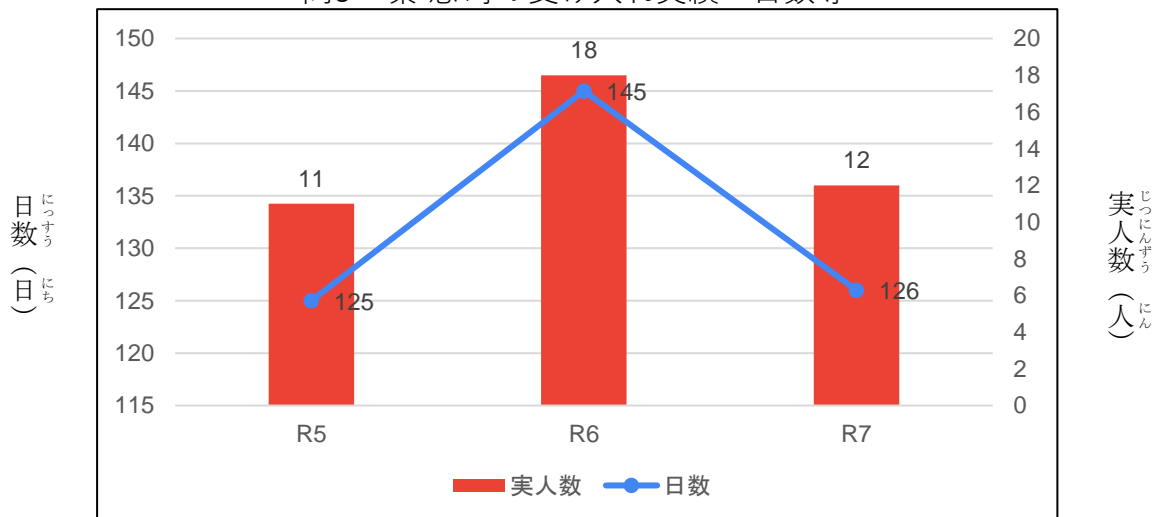
単位：事業所数、%

■有 ■無

8 前々日、前日又は当日での申し込みでの受け入れ実績(R5~R7)の日数等

○緊急時の受け入れ状況は、令和5年度が11人で125日、令和6年度が18人・145日、令和7年度が12人・126日であった。

問8 緊急時の受け入れ実績 日数等



項目	R5	R6	R7
日数	125	145	126
実人数	11	18	12
1人当たり利用日数	11.4	8.1	10.5

9 受け入れ可能な障がい種別及び対象者別の事業所数

○最も受け入れ可能な対象として多かったのは、知的：軽度・中度の男性であった。
 ○最も少なかったのは、重心・医療的ケア有で、特に男児・女児は対応可能な事業所がなかった。

問9 受け入れ可能な障がい種別、対象者別の事業所数

障がい種別・対象者別状況	男性	女性	男児	女児
身体：肢体不自由	9	9	6	6
身体：聴覚障がい	9	9	6	6
身体：内部障がい	9	8	4	4
知的：軽度・中度	13	12	8	7
知的：重度	8	8	6	5
重心：医療的ケア有	1	1	0	0
重心：医療的ケア無	6	6	4	4
精神障がい	9	8	6	6
高次脳機能	8	7	5	5
発達障がい	10	9	7	6
難病	3	3	2	2

単位：事業所

10 受け入れ可と回答した場合の補足事項

○受け入れ可と回答した場合の補足事項は、以下のとおりであった。

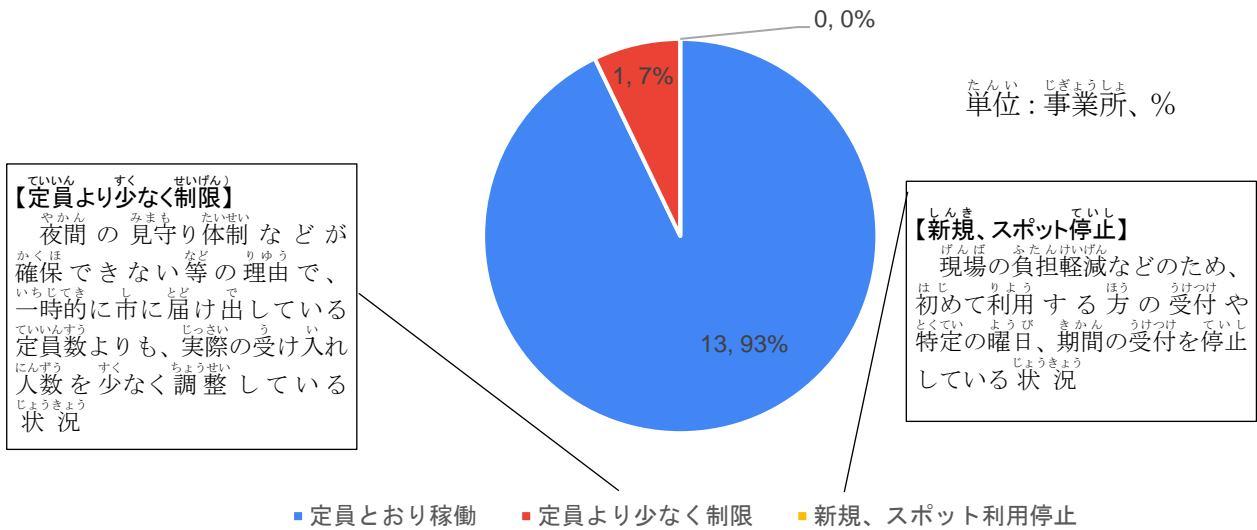
問10 受け入れ可の補足事項

- ・どの障がい種別であっても、社内検討必須。
- ・空き状況や受け入れ態勢はその都度変わるため、障害種別に関わらず一旦相談していただいたうえで受け入れについて検討させていただきます。
- ・聴覚障がいは手話対応できない。児童の受け入れは、成人の利用者の中での怪我や他者からの干渉リスクを受け入れの判断基準とします。
- ・知的重度者は1名まで
- ・知的、精神はリスクを考慮した上で受け入れ可能
- ・医療ケアは酸素及び人工呼吸管理については要検討
- ・併設部に隣接しているGHの入居者全員が男性となっているため女性の受け入れは難しいと考える
- ・本人の身体状況や周辺症状によっては利用に結びつかない場合あり

11 短期入所としての実質の可能人数

○現在、短期入所としての「実質の」可能人数は、「定員のとおり」が13事業所・93%、職員配置等の都合により、「定員より少なく制限している」が1事業所・7%、「新規、スポット利用停止」はなかった。

問 1 1 短期入所 実質受け入れ可能人数



12 空床(空きベット)が出やすい曜日や時期(複数回答)

○空床が最も出やすいのは、「平日(月～金)」が9事業所であった。
○「特になし(常に満床に近い)」は、5事業所であった。

問 1 2 空床の出やすい曜日等

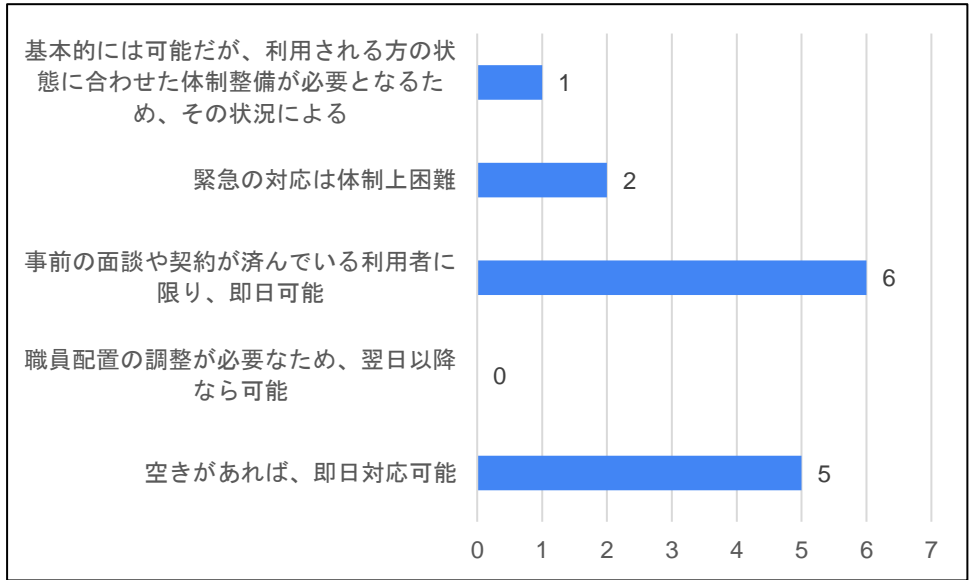
単位：事業所数



13 当日の依頼に対する受け入れの可否

○「事前の面談等が済んでいる利用者に限り、即日可能」が6事業所で、「空きがあれば、即日対応可能」が5事業所であった。

問 1 3 当日の依頼に対する受け入れの可否

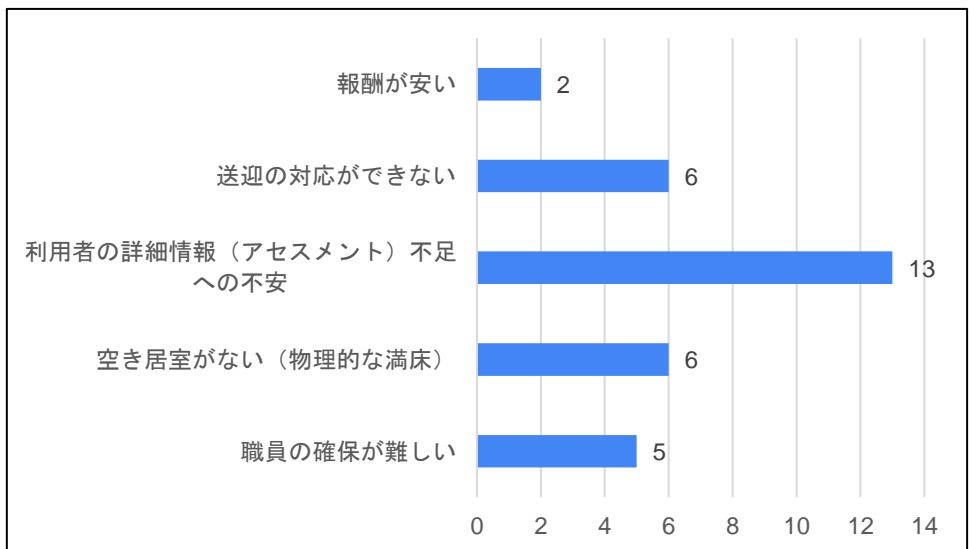


単位：事業所数

14 緊急受け入れのネックとなる要因(複数回答)

○緊急受け入れのネックとなる要因で最も多かったのは、「利用者の詳細情報不足への不安」で13事業所、次いで「送迎の対応ができない」、「空き居室がない」がともに6事業所であった。
○「報酬が安い」は2事業所であった。

問 1 4 緊急受け入れのネックとなる要因

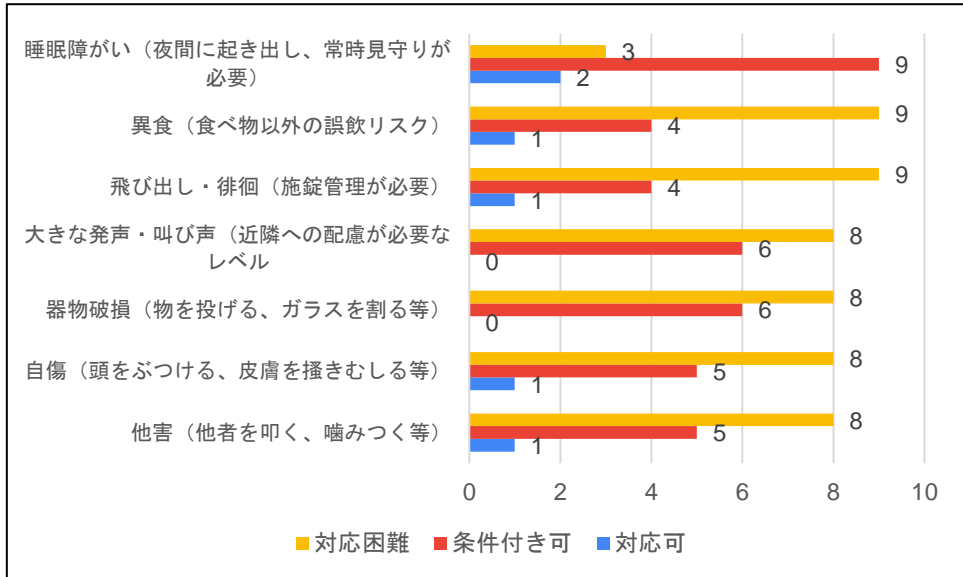


単位：事業所数

15 行動特性がある方の受け入れの可否

○全般的に「対応可」と回答した事業所は少なかった（0～2事業所）。
 ○特に「大きな発声・叫び声」、「器物破損」は、「対応可」と回答した事業所はなかった。

問 15 行動特性がある方の受け入れの可否

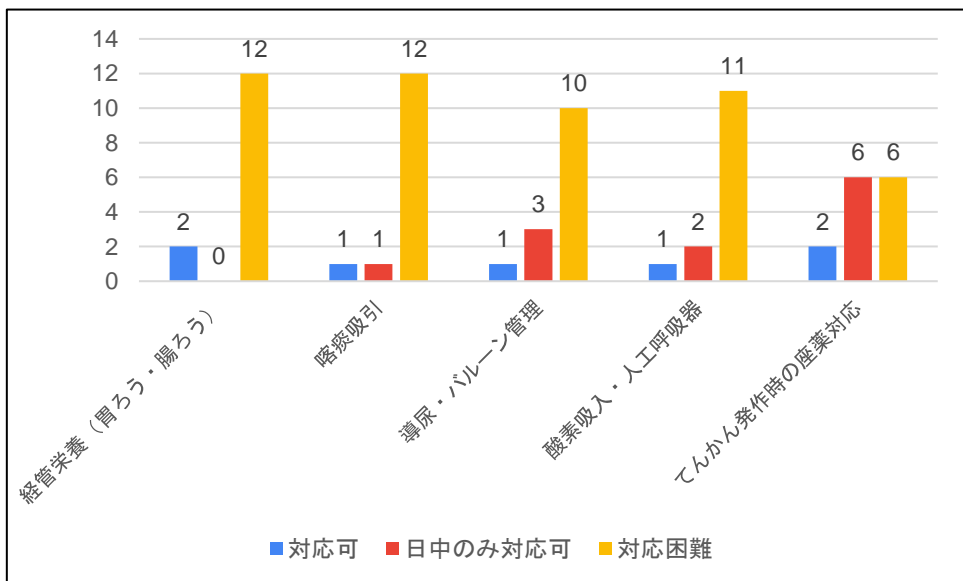


単位：事業所数

16 医療的ケアが必要な方の受け入れの可否

○全般的に「対応可」と回答した事業所は少なかった（1～2事業所）。

問 16 医療的ケアが必要な方の受け入れの可否



単位：事業所数

17 事業所の特徴、PRしたい点(自由記載)

問17 事業所の特徴、PRしたい点

- ・積極的に児童の受け入れを行っています。
- ・特に緊急時には、児童・成人を問わず、可能な限り受け入れができるよう努めています。ご希望がございましたら、ぜひ一度ご相談ください。
- ・ほぼ満床に近いですが、空き状況を見ながら受け入れします。事前の見学はご希望に応じて対応します。
- ・緊急時の受け入れに関し、初めて利用する方は受け入れていない。
- ・児童の受け入れ実績はないが、受け入れ体制はあるため、希望があれば見学をお願いします。緊急時受け入れは積極的に受け入れしていきたいです。